

松江サマースクール

1日目

8月18日(月)、19日(火)の2日間、大町市内の小学校6年生12名(男児7名、女児5名)が、姉妹都市交流事業の一環として「松江サマースクール」に参加しました。

本事業は、島根県松江市と大町市の姉妹都市交流を深めることを目的とし、現在も息づく堀尾吉晴公のまちづくりを児童の皆さんが見聞きすることで、松江の歴史や文化の魅力を体感してもらうことを期待して実施しているものです。



▲出雲大社鳥居前



▲出雲大社大しめ縄前

荘厳な雰囲気の出雲大社を散策した後、堀川遊覧船に乗船し、城下町の風情を水上から楽しみました。その後、松江市伝統の和菓子作りに挑戦し、でき立ての和菓子を味わうひとときもありました。続いて京店商店街を散策し、石畳に隠されたハート模様を探しながら歴史や文化に触れました。夕方には松江市役所を訪問し、上定松江市長との名刺交換や歓談をおこない、趣味や関心事について語り合う貴重な機会をいただきました。



▲堀川遊覧船



▲出雲大社参拝



▲京店商店街まち歩き



▲和菓子作り体験

松江市の児童と合流し、ガイドの説明を聞きながら、松江歴史館や国宝・松江城と一緒に見学しました。松江市児童とは、名刺交換や自己紹介を通じて交流を深め、友情を育む時間となりました。

午後は来待ストーンミュージアムにて石造りについて学び、来待ストーンを使って自分だけのペンダントを制作しました。



▲松江市教育委員会の歓迎



▲宍道湖



▲上定松江市長との名刺交換



▲児童間交流



▲松江城

今回のサマースクールは、児童にとって歴史・文化の理解を深めるとともに、松江市の児童との交流を通じて新たな視野を広げる大変有意義な機会となりました。



▲来待ストーンペンダント作り